

事業所における自己評価結果(公表)

公表：2024年 1月 31日

事業所名 多機能型通所支援事業所まゆ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指定基準スペースに合った利用定員にはなっている。	物品の整理、レイアウトを随時変更、スペースを工夫。感染対策になるとともに活動の幅が広がった。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			指定基準に合った人員配置になっている。	業務の効率化を図り、数に見合ったサービス向上に努めたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差のないフロアー、手すり等の配置、全体が見渡せる広い空間でわかりやすい構造になっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員ミーティング実施。各種委員会等の役割を持ち職員自らが業務改善に関わっている。	会議録を通して職員に周知。ISO9001システムの運用を通してPDCAサイクルに取り組み、業務の標準化を更に進めたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価からご指摘を受けた内容については法人と事業所内で共有している。	定期的に保護者様に評価をお願いし、頂戴した保護者様のご意見を真摯に受け止め、今後の業務改善につなげていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			皆様から頂いた評価は事業所内に還元すりと共に、ホームページで公開している。	定期的に自己評価を行い、その結果を受け改善を行う。併せて、その結果を公開していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				ISO9001に基づいて第三者による外部評価が確実に行われている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人全体研修、事業所内研修の実施。外部研修への参加を勧めている。	コロナ5類移行後は外部研修へも参加(場合によってはリモート参加)に努めた。また、法人内事業所内での研修を進めた。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			その都度アセスメントを行なったうえで支援計画を立てている。	今年度から個別支援会議前には「要望書」の記入をお願いしている。一人ひとりの課題に合った具体的な支援の計画がさらに立てられるよう努めたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達状況、心身の状態が把握できるようにアセスメントを行います。	困難な部分が改善され、安心した毎日に繋がられるよう工夫とサービスを提供します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			サービス向上委員会、および活動班で検討・計画を立てている。	改善点や新しいアイデアを検討共有する機会をより多くしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			満足度調査項目に行事・活動の内容も含み、利用者様・ご家族様にご希望や意見を伺っている。	調査結果(ご要望)に基づいた活動を計画、実施した。感染予防の観点から保護者様参加の計画は未実施。参加していただける様創意工夫していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			状況に合わせて対応し、長期休みの利用では普段できないことを経験できるように努めている。	通常の放課後時間以外に必要な支援に合わせて、臨時利用等できる限り対応させていただきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動と個別活動を並行して実施している。	集団活動の他、個別活動を中心に活動展開中。より個々に合った内容が提供できるように努めています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			翌日の内容は夕方の職員ミーティングで、当日の変更事項は朝の申し送りで確認している。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			夕方に職員ミーティングを実施。	送迎の時間差、休みで鍵不参加の職員が情報共有できるようにミーティング軌陸の充実に努めている。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人記録に記録を取って、振り返っている。会議録の作成。また、連絡ノートによりご家庭と情報共有できている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画作成毎と半期、必要時にモニタリングを実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○			地域交流機会の提供が少ないので、コロナ5類移行を機に今後工夫していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加。その他、児の状況に応じて専門職が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			役所や地域の関係機関、相談支援事業所と連携している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			特に役所の福祉課、子ども課、受診先の病院(主治医)とは密に連絡を取っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援専門員と連携して、必要に応じて情報交換等している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			ご家族、相談支援事業所を通して情報共有ができている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修への参加、情報交換を行っている。	コロナ禍中は交流の機会等直接的な連携が図れなかった。今後は積極的に外部研修への参加、情報の発信に心がけたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			以前は認定こども園との交流の機会を設けていた。	コロナのため交流の機会が持てなかった。また、年齢層が合った子ども達との交流を今後検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		自立支援協議会子ども部会に必要時参加し、情報共有している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノート、送迎時の会話の中で日々の小さな変化を伝えあい、適切な支援へつなげている。	
保護者への説明	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・クッキング教室を通して食べやすい形態等、関わりの工夫の情報提供をしている。	クッキング教室は規模を縮小して実施予定。今後も参加型、情報提供の両面からアプローチしていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時には行わせていただいています。法制度等の変更があった場合には、その都度ご家族へ説明する機会を設けている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者の必要性に合わせて対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		家族が参加できる行事開催予定があったが、できていない。保護者会等の開催はできていない。	コロナのため家族参加の行事が困難。5類移行を機に方向性を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			職員ミーティングや委員会で検討し、適切にお返事できるようにしている。	苦情申し出窓口を設置し、必要性に合わせて対応している。意見箱を設置し、いただいたご意見に対しては回答を公表する。

責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月の予定表、季刊の会報を発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには注意を払い、ダブルチェック等でミスを防ぐようにしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ことばの表現を工夫するなど、分かりやすく伝えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		隔年になるが地域の展覧会等に作品出品をしている。	行事は事業所内のみになっているので、今後検討の予定。合わせてニューノーマルの対応も検討。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時マニュアルは策定済み。緊急連絡先・連絡方法は、定期的に見直している。法人全体でBCP策定、随時見直している。	ご家庭への連絡訓練など保護者様を含めた訓練はできていないため、今後検討し実施につなげていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防署立ち合い訓練を実施。毎月避難訓練を実施。	コロナ5類移行後に消防署員立ち合い訓練を実施した。今後AED使用等の訓練を実施していく予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を中心に、研修を実施している。会議は毎月開催。	現在虐待や身体拘束に値する事象は無いが、常に日常の支援を見直し不適切行為にあたらぬか配慮していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束が必要な状況は無い。	現在虐待や身体拘束に値する事象は無いが、常に日常の支援を見直し不適切行為にあたらぬか配慮していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師・栄養士・看護師で確認し、適切な給食を提供している。アレルギーの代替品目を保護者へ伝え、安心していただいている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事故報告書の作成と振り返りを行っている。	細かいことでもヒヤリハット事例を作り、事故を未然に防げるようにしていく。(安全管理委員会)	